

彦根警察署協議会議事録

開催日時	令和6年11月29日（金）午後3時～午後5時	
開催場所	彦根警察署 3階会議室	
出席者	委員	北川孫雄会長、高橋嘉子副会長、山田綾子委員、中川捨次郎委員 青山吉伸委員、柴田謙委員、福本真理子委員
	警察	和田署長、田中副署長、鈴置調査官（警務課長）、藤田交通課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「SNS型の特殊詐欺犯罪など世間のデジタル化により、様々な犯罪が発生している。県内で特殊詐欺プロジェクトチームが設置されるなど、警察の皆さんが安全・安心なまちづくりに向けた活動をしていただいていることに感謝する。委員の皆様も地域で感じたことがあれば、この場で発言をお願いします。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、12月の歳末特別警戒に向けて、住民の安全安心に向けて署員一丸となった取り組みを実施する旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 業務概要説明</p> <p>警察から、令和6年1月から10月末現在までの管内での犯罪情勢と交通事故の発生状況について説明がなされたほか、10月30日に発生した死亡ひき逃げ事件の早期被疑者検挙について説明がなされた。</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 警察署協議会代表者会議の結果報告について</p> <p>会長から、本年11月7日に滋賀県警察本部において開催された警察署協議会代表者会議の開催結果について報告がなされた。</p> <p>(2) 管内における交通事故の発生状況と高齢者の交通事故抑止活動について</p> <p>警察から、令和6年10月末までの交通事故の発生状況及び高齢者による交通事故の特徴と抑止対策のほか、10月30日発生した死亡ひき逃げ事件についての報告がなされた。</p> <p>その際、委員から「いまだに飲酒運転をされる方がいることに悲しみを覚える。家族を亡くした遺族の話を交通安全教室で聞いていただくことも良い</p>	

と思う。」旨の意見がなされた。

委員から「高校生が遅い時間に帰宅するため、交通事故の危険もあり、飲酒運転を絶対にしないという意識を持ってほしい。漫才等で楽しく啓発してもらうことは良い。」旨の意見がなされた。

さらに、啓発に関して、委員から「様々な機会を捉えて啓発していただいているが、今流行りのデジタルを使用した啓発も良いと思うので、検討してはどうか。」旨の提言がなされた。

(3) その他

委員から「学校内で事件があり、不安な状況が続いている。ニュースで犯人が捕まったという記事が載っていたが、どのような対応ができるのか。」との質問がなされ、警察から「学校に出向いての防犯教養等を行っている。」旨の説明がなされた。

委員から「自転車の法令が厳しくなり、飲酒運転やながらスマホ、信号無視等については法令化されたが、ヘルメットの着用が含まれていないのはなぜか。また、中央線のない狭い道路でも速度を落とさない車があり、速度を落とさせる方法はないか。」旨の質問がなされ、警察から「ヘルメットの着用が法令化されなかった理由は分からないが、速度抑制の安全対策については、速度抑制のためのラインを引くなどの物理的な対策もある。」旨の説明がなされた。

委員から「パトカーによる赤色灯を点灯してのパトロールは、効果はあるので、更に推進してほしい。」旨の意見がなされ、警察から「基本的なことであり、徹底するよう指導する。」旨の説明がなされた。

委員から「飲酒運転の検挙について、前年比はどうなっているのか。いまだに飲酒運転をしている者がいることは由々しき問題である。」旨の質問がなされ、警察から「検挙件数については、今年は減少傾向にある。」旨の説明がなされた。

委員から「大麻などの薬物事件はあるのか。また、啓発の状況も教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察から「薬物事件の大麻所持などの検挙があり、SNS等を使った啓発を行っている。」旨の説明がなされ、委員から「啓発等を通じて上手く周知してほしい。」旨の意見がなされた。

委員から「オーバードーズの事犯が増えており、オーバードーズに関して、保護司会でも若年者等に対する啓発をしている。」旨の報告がなされ、警察から「オーバードーズについては、低年齢化していることもあり、懸念

している。」旨の説明がなされた。

委員から「家庭内の暴力についても警察は対応しているのか。」旨の意見がなされ、警察から「状況によって、逮捕、保護、入院等の対応をとっている。」旨の説明がなされた。

委員から「大幅な速度違反で死亡事故を起こした者を、更に厳罰化すべきと思う。」旨の意見があった。

5 次回協議会日程

令和7年2月に実施されることとなった。